

海水浴場等の入込状況について

本年度は梅雨明けが早く、また昨年同様暑い日が続きましたが、台風6号の影響が長期間にわたったため、市内の海水浴場・市営プールの入込客は減少しています。

静波海水浴場は6月30日、さがらサンビーチは7月1日にオープン、市営地頭方シーサイドプールは7月23日に営業を開始しました。

記

1 入込状況（海水浴場については駐車台数）

(1) 市営海水浴場駐車場駐車台数（普通車／7月24日現在）

- ・静波 2,484台（昨年：3,887台） 前年比 63.9%
- ・さがら 729台（昨年：1,273台） 前年比 57.3%
- ・市全体 3,213台（昨年：5,160台） 前年比 62.3%

(2) 市営地頭方シーサイドプール入場者数

- ・23年度 393人（7/23は無料。7/23、24の入場者数）
- ・22年度 377人（7/24は無料。7/25のみの入場者数）

2 概要

- (1) 台風6号の影響により、海の日を含めた3連休のうち16日と17日が「注意」、18日が「禁止」の遊泳規制となり、その後、海岸の復旧作業も含めて22日（金）まで「遊泳禁止」が続いたことから、静波・さがらともに駐車台数が大幅に減少している。
- (2) 台風6号前までの状況を比較すると、静波よりさがらの方が減少幅が大きい。
- (3) 観光協会からは、山梨県の契約先の宿泊予約状況についても、昨年を下回っていると聞いており、東日本大震災の影響が生じているものと思われる。

3 今後の期待と対処

- (1) 台風6号前までは、昨年と同様暑い日が続いていたため、今後の好天を期待するとともに、山梨、長野、名古屋方面などからの来市を期待する。
- (2) 21年度のような災害や台風がなければ、昨年と同程度の観光客数が見込める。
- (3) 昨年からは静波海水浴場に「動画」のライブカメラが設置されており、山梨・長野など遠方からの観光客も、より詳細な状況を、リアルタイムで確認できるようになっている。